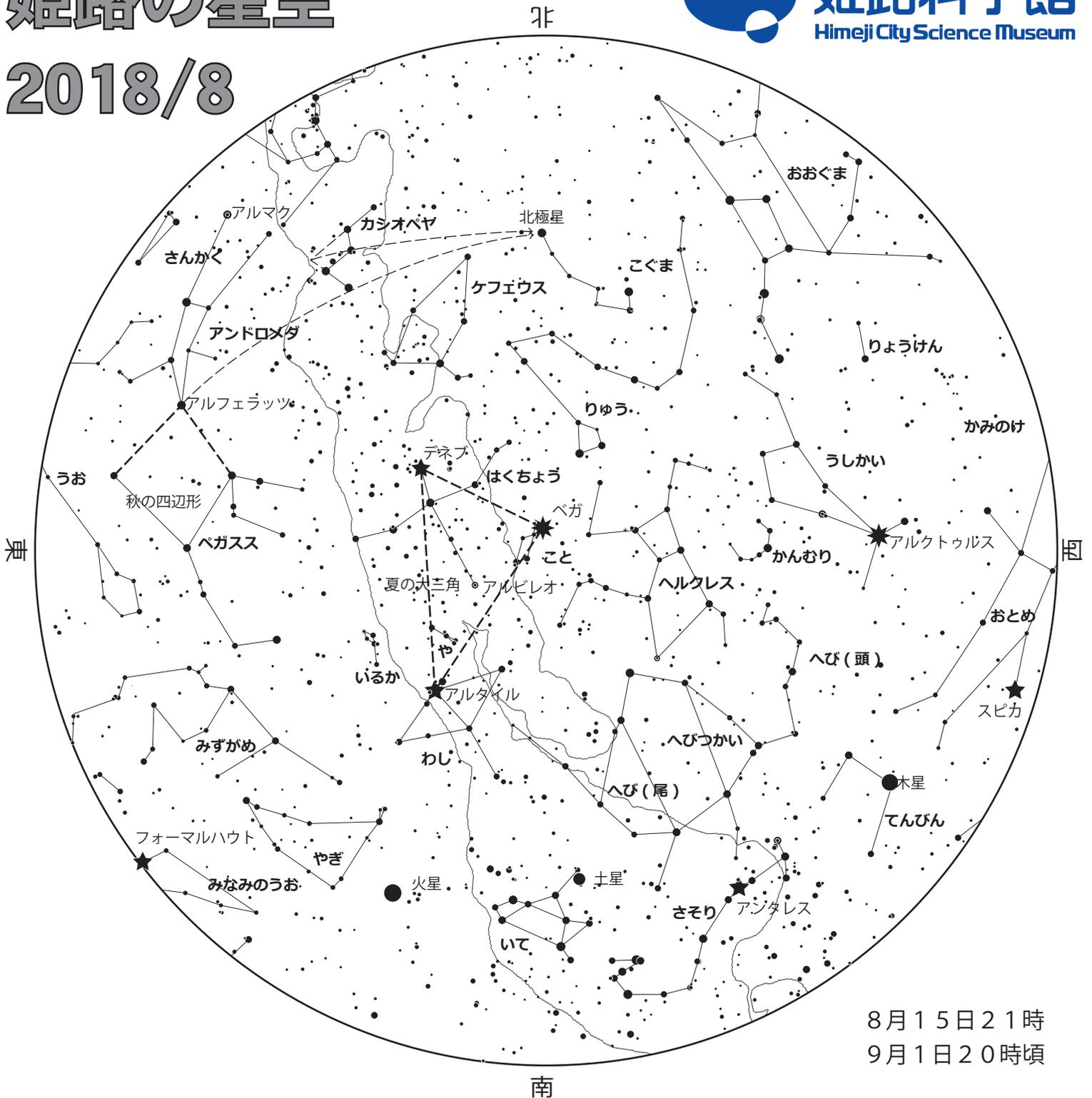


姫路の星空

2018/8



姫路科学館
Himeji City Science Museum



8月15日21時
9月1日20時頃

今頃の一番星は金星です。目のいい人は、日没の少し前に見つけられるかもしれません。金星の左側（南寄り）には木星も目立ちます。見晴らしが悪いとこだと、金星が見えず、木星が一番星になるでしょう。暗くなると、南に土星が見えます。望遠鏡では土星の環が見やすいです。土星の左側には7月31日に大接近した火星が見えています。これからは、やぎ座、みずがめ座と星座の中を動く様子も観察してみましょう。

南の空には、木星と土星の間に**さそり座**のアンタレスが見えます。土星の下は**いて座**です。頭の上には夏の大三角が見えます。3つの星は、**こと座**のベガ、**わし座**のアルタイル、**はくちょう座**のデネブです。ベガとアルタイルは七夕の星たちです。2つの間には天の川が流れます。

東の空には秋の四辺形が見え始めています。四角い姿が胴体になって、空飛ぶ馬の星座**ペガサス座**になります。ペガサス座の北側には星がW(または3)の形に並んだ**カシオペヤ座**があります。秋の四辺形やカシオペヤ座からは北極星が探せます。

日の入りがだんだん早くなり、星が見え出すのも早い時間になります。日の入りの様子からだけでなく、夏の星座から秋の星座への夜空の移り変わりからも季節も感じてください。